

第八十六回
貴國議會

外資金庫法案特別委員會議事速記錄第四號

第八十六回

- 軍需金融等特別措置法案
 - 臨時資金調整法中改正法律案
 - 戰時金融金庫法中改正法律案

昭和二十年二月一日(木曜日)午前十

○泰良長(男爵東郷安君) 開會致シマス、是ヨリ軍需金融等特別措置法案ニ付キマシテ政府ヨリ一應ノ説明ヲ承リ

○政務委員 山陰道選舉
特別措置法案ニ關シマシテハ、昨日大藏大臣ヨリ提案ノ大體ノ理由ヲ申上ゲタ
次第デゴザイマスガ、尙多少ソレニ補足ヲ致シマシテ、此ノ法案ノ内容ノ極重需金融等

ク筋道タケヲ御説明申上ゲタイト存ジマス、此ノ法案ハ内容のニ申シマスト、
軍需金融ノ圓滑適正且資金ノ效率的使
用ノ問題、ソレカラ其ノ外金融機関ニ
關スル業務ノ事務ノ簡素化ニ關スル諸

規定、尙事業会社等ノ資金ノ效率化ニ
關シテ、金融機關ノ職員等ノ機能ヲ發
揚スルト云フ規定、ソレノ事項ヲ主タ
ル内容ト致シマシテ組立テラレテ居ル
法律デアリマシテ、最初ノ部分ハ軍需

金融ニ關スル直接的ナ規定ガ掲ゲラレ
テ居ルノデゴザイマス、第一條ニゴザ
イマスノハ本法ノ目的デゴザイマスガ
是ハ只今申上ゲマシタ通り、軍需金融

邁正化 由資金之效率的使用卜五刀黑

第四部第六類 外資金庫法案特別委員會議事速記錄第四號

昭和二十年二月一日

貴族院

ヲ目標トシテ此ノ法律ハ出來テ居ルト
云フコトヲ掲ゲテ居ルノデゴザイマ
ス、第二條以下ガ當面ノ軍需金融ニ關
スル諸規定デゴザイマス、御承知ノ通
リ軍需金融ハ昨年軍需會社法ノ施行致
サレマスルト共ニ、其ノ軍需會社ニ對
シマシテ、主トシテ金融ノ任ニ當ルベ
キ指定金融機關ヲ定メマシテ、其ノ兩
者ノ間に資金ノ極メテ圓滑且適正ナル
疏通が行ハレルト同時ニ、資金ガ極力
効率的ニ使用サレルヤウニト云フコト
デ、所謂指定金融機關制度ト云フモノ
ヲ始メテ居ルノデゴザイマス、昨年來
ヤツテ居リマスル制度ハ直接ノ法律的
ナ基礎ト申シマスルヨリハ、總動員法
系統ノ諸規定、其ノ他各種ノ金融機關
ニ關スル法令ノ諸規定ヲ引用致シマシ
ヲ始メテ居ルノデゴザイマス、即チ第
二條ノ規定ヲ御覽戴キマスト、政府ハ
ヲ固メル必要モゴザイマスルノ度今般
之ヲ表面カラ法制化致サウト云フノガ
スルガ、段々是ガ軌道ニ乗ツテ參リマ
スルト、更ニ其ノ内容ヲ充實シ、制度
シテ運営致サレテ參ツタノデゴザイマ
テ、ソレ等ノ綜合ノ下ニツノ制度ト
シテ、資金ノ融通ヲ爲スベキ金融
機関ヲ各軍需會社其ノ他ノ事業者每ニ
指定スルコトガ出來ルト云フコトガ書
軍需會社其ノ他命令ヲ以テ定メルモノ
ニ對シテ、資金ノ融通ヲ爲スベキ金融
機関ヲ指定致シマシテ、某軍需會社ニ對
ス、即チ第三條ニ直グニ受ケマシテ、
最初指定ガアリマスト、其ノ指定サレ

タ金融機關以外ノ金融機關ハ、特別ノ場合ヲ除キマスル外ハ原則トシテ其ノ相手方ヲ示サレマシタ當該軍需會社ナドニ對シマシテハ他ノ者カラ資金ノ融通ハ行ヘナイト云フコトヲ規定致シテ居ルノデゴザイマス、詰リ二條ト三條トハ表ト裏トヲ示シマシテ、サウシテ是デ所謂事業會社ト金融機關トノ結合キガ行ハレマシテ、之ニ依ツテ事業者ト金融機關トが御互ヒニ一體トナツテ、其ノ事業ノ達成、生産増強ノ爲ニ協力ヲスルト云フ仕組ガ此ノ二條三條云フ色々ノ規定ガゴザイマスガ、是ハデ生レテ來ルト、斯ウ云フコトニナツ後程又一括シテ申上ゲタ方ガ宜シトイテ居ルノデゴザイマス、尙各所ニ命令ニ依リ若クハ勅令ノ定ムル所ニ依リト思ヒマスノデ、只今ノ場合ハ筋ダケ御話申上ゲマス、ソレカラソコデ第二條第三條ノ結果、或軍需會社ニ對シテ、ソレニ對シテ資金ノ融通ヲ受持ツベキ金融機關ガ定メラレタ致シマスト、第四條ニ參リマシテ、然ラバ其ノ受持ノ金融機關ハ如何ナル立場ニ於テ其ノ事業者ノ事業ノ遂行ニ必要ナ資金ヲ融通シタラ宜イカト云フコトガ、此ノ第4條ニ掲ゲラレテ居ルノデゴザイマス、デ是ハ如何ニモ此ノ何ント申シマスカ、趣旨ヲ示シタヤウナ條文デアリマシテ、直接的ナ内容ヲ持ツテ居ナイヤウデゴザイマスガ、此ノ法律ガ抑一面シタイト云フ趣旨デゴザイマスルカラ、

其ノコトヲ此ノ第四條ニ語ツテ居ルノデ
ゴザイマス、所ニ二條三條ニ事業者ト金
融機關關トノ結ビ付キガ決マル第四條ニ
其ノ金融機關ノ行フベキ融通ノ行ヒ方
定メラレタト致シマシテ此ノ第五條ニ
參リマスルト、併シナガラ場合ニ依リ
マシテハ、必ずシモ申込ラ受ケタ資金ノ
融通ガ金融機關ノ立場カラ見マスルト、
行ヒ得ナイ場合ガアリ得ルノデアリマ
ス、即チ一例ヲ舉ゲマスルナラバ、金
融機關ノ立場カラ見ルト其ノ會社ノ事
業計畫其ノモノガ適當デナイト思フヤ
ウナ場合、或ハ其ノ事業ガ極メテ危険
デアツテ、通常ノ金融機關ノ業務トシ
テハ行ヒ難イト云フヤウナ場合、或ハ
資金ノ所要量ガ非常ニ厖大デアツテ、
到底自分ノ金融機關ハ負擔ニ堪ヘナ
イト云フヤウナ場合、幾多ノ事例ガア
ルト思フノデアリマス、左様ナ場合ニ
ハ此ノ第五條ニ其ノヤウナ場合ニハ直
グニソレヲ斷リキリニシナイデ、直子
ニ自分ノ方が引受難イト云フ理由ヲ申
出テ、政府ノ方ニ通知ヲスルト云フコ
トニ致シテアルノデゴザイマス、即チ
需要者ニ對スル資金ノ融通ヲ行フベキ
金融機關ヲ定メシマフノデアリマス
カラ、指定金融機關ガ金ガ出ナイト云
フノデハ需要者ガ困ルノデアリマス、
アリマス、ソレカラ第六條ニ參リマス
左様ニ場合ニハ直子ニ政府ニ申出マシ
テ、政府ノ方デ其ノ事情ヲ質シマシテ
善處ヲスルト云フ途ヲ備ヘテアルノデ
受持ノ事業會社ニ對シテ資金ヲ融通シ

得ル限度ヲ政府ガ定メルコトガ出来ル
ト云フコトヲ規定致シテアルノデゴザ
イマス、大體はハ實行上軍需會社等
ニ對シマシテ、政府ノ方ニ於キマシテ
監督官廳ナドガ認メテ居リマス擴充計
畫ナリ或ハ生產計畫ナリト照應致シマ
シテ、普通ノ場合ニ於テハ此ノ程度ノ
資金ガ所要セラレルデアラウト云フ限
度ヲ抑ヘマシテ、ソレデ此ノ第六條デ
豫メ金融機關が融通シ得ル限度ヲ定メ
テ居ル、即チ之ガ一應ノ資金効率化ノ
マシタ場合ハ、第六條第二項テ其ノ受
持ノ金融機關ハ特別ノ場合ノ外ハ其ノ
シテ、第六條ハ其ノ旨ヲ規定致シテア
ルノデゴザイマス、斯様ナ指定ガアリ
テ居ル、即チ之ガ一應ノ資金効率化ノ
マシタ場合ハ、第六條第七條ニ參り
テ、生産増強ニ資スルト云フ見地ヲ持
限度ヲ超エテ資金ノ融通ヲ行ツテハナ
ラヌト云フコトガ規定致サレテ居ルノ
デゴザイマス、ソレカラ第七條ニ參り
マスト、此ノ法律ノ狙ヒドコロガ、一
面ニ於テ先程申上げマシタ通り、何處
迄モ事業ト金融トノ一體化ヲ圖リマシ
テ、生産増強ニ資スルト云フ見地ヲ持
テ居リマスカラ、其ノ便宜カラ申シ
マスト、金融機關ノ方ニ於キマシテ、
其ノ各需要者毎ニ責任ヲ擔當スル所ノ
擔當者ヲ決メテ置クコトガ非常ニ便宜
ナノデゴザイマス、此ノ擔當者ガ決ツ
ツテ居リマスカラ、又會社側カラ致シ
マシテモ、連絡上人ガ決ツテ居リマス
ト非常ニ取引ガ圓滑ニ參リマス關係ガ
アリマスカラ、ソニデ軍需金融擔當者
ト云フモノヲ選ブコトニ決メテアル

ノデアリマス、然ラバ其ノ擔當者ハ如
何ナルコトヲスルカト申シマスト、其
ノ第二項ニ書イテアリマス通り、又只
來ルダケ效率的ニ使用ナレルヤウニ努
力ヲスルト云フノガ其ノ任務ニナツテ
圓滑ナル疏通ト同時ニ、其ノ資金ガ出
居ル譯デゴザイマス、第八條ハ、是ハ
其ノ指定サレタ金融機關ノ職員デ、事
業者ニ對スル資金ノ融通ニ關係アルモ
ノハ所謂公務員ト看做スト云フ、規定定
ゴザイマス、相當軍需會社等ノ祕密事
項ヲ知り得ル立場ニモゴザイマス、
是ハ全ク公ノ立場ニ於テ事業所要資金
ノ調達ニ當ルト同時ニ、又其ノ資金ノ
效率化ヲ圖ラナケレバナラスト云フ公
務的ナ職務ヲ持ツテ居ルモノデアリマ
スカラ、第八條ニ依ツテ其ノ職員ヲ公
務員ト看做スト云フコトニ致シタノデ
ゴザイマス、ソレカラ第九條ノ規定ハ、
是ハ社會側ノ便宜カラ申シマシテモ、
亦所謂資金効率化ノ見地カラ申シマシ
テモ、其ノ軍需會社等ガ行ヒマス所ノ
各種ノ出納事務、此處ニ例ガ擧ツテ居
リマス賣買代金、前受金、前渡金、其
ノ他ニ準ズベキモノノ受拂、是等ニ
關スル事務ヲ若シ其ノ軍需會社カラヤ
ツテ吳レト言ハレタ場合ニハ、ソレハ
指定サレタ金融機關ハ引受けケレバ
ナラヌゾト書イテアルノデアリマス、
即チ最モ理想的ニ軍需會社等ト金融機
關ガ結ビ付キマス場合ニ於テハ、其ノ
金融機關ガ全體トシテ其ノ軍需會社ノ
モ資金ノ效率ノ使用ガ理想的ニ行ヒ得
出納ノ事務サヘモ取扱ヒ得ルト云フ立
場ニ立チ得ル譯デアリマシテ、之ニ依
リマシテ真ニ圓滑ニ資金ノ融通ト、而
モ資金ノ效率ノ使用ガ理想的ニ行ヒ得
ル譯デアリマス、左様ナ段階ニ參リマ

スレバ、會社側ノ申出ニ依ツテ金融機
關ハ其ノ任ニ當ルト云フコトガ規定サ
レテアルノデアリマス、第二項ハ會社側
ノ申出ヲ待ツ迄モナク、政府ノ方ニア
レテ他營業所ノ業務ノ執行ノ制限等ヲ命
令出給ム方ガ總ア事務能率ガ良イト、
斯ウ、認メタ場合ニハ、會社自體ニ對シ
マシテ、其ノ會社ノ事務ハ指定サレタ
金融機關ニ委託セヨト云フコトニモシ
得ルト云フコトニ規定致シテアルノデ
アリマス、即チ第九條ハ只今申上ゲマ
シタヤウナ趣旨ニ於キマシテ緊密ナル
聯繫ニ下ニ資金ノ效率的ナ使用ヲモ圖
ツテ参リタイ、斯様ナ趣旨ノ規定ニナ
ツテ居リマス、ソレカラ第十條ノ規定
ハ、段々申上ゲマシタ制度ニ依ツテ軍
需會社等ト金融機關トノ結ビ付キハ、
謂ハバ公ノ結合付キト申シマスカ、單
ナル個々ノ自由意思ニ基ク取引ト自ラ
性質ガ違フ點ガアルノデアリマス、即
チ各種ノ軍需會社等ヲ通ジマシテ、ド
ノ受持ノ金融機關カラモ、大體同ジヤ
ウナ條件ノ下ニ金融ガ行ハレテ參ルト
云フコトヲ必要トスル場合モゴザイマ
ス、單ニ當事者間ノ話合ヒダケデ任意
ニ各種ノ條件ヲ定メテ宜ト云フ譯ニ
モ参リマセヌノデ、茲ニ必要ガアリマ
ス場合ニハ、其ノ資金ノ融通テアルト
カ、或ハ貯金、預金ノ受入トカ、只今
申上ゲマシタ出納事務ノ引受ナドニ付
キマシテ、利率トカ期限トカ手數料ト
カ、各種ノ條件ヲ政府ノ方カラ命令シ
得ルト云フ規定ヲイタ譯デアリマス、
現在モ是ハ金融統制會ノ統制規定
等ヲ運用致シマシテ、統一的な條件ノ
下ニ軍需融通ヲ行ツテ居ルノデゴザイ
マス、ソレカラ第十一條ハ、是ハ軍需
金融ヲ疏通致シマスル上カラ致シマシ

テ必要ガアリマス場合ニ、營業所ノ設
置又ハ廢止、或ハ宗款ノ變更ナド、其
ノ軍需會社ハ、前ニ申述ベマシタヤウナ
出納事務的ナコトヲ其ノ指定サレタ金融
機關ニ賴ム方ガ總ア事務能率ガ良イト、
斯ウ、認メタ場合ニハ、會社自體ニ對シ
マシテ、其ノ會社ノ事務ハ指定サレタ
金融機關ニ委託セヨト云フコトニモシ
得ルト云フコトニ規定致シテアルノデ
アリマス、即チ第九條ハ只今申上ゲマ
シタヤウナ趣旨ニ於キマシテ緊密ナル
聯繫ニ下ニ資金ノ效率的ナ使用ヲモ圖
ツテ参リタイ、斯様ナ趣旨ノ規定ニナ
ツテ居リマス、ソレカラ第十條ノ規定
ハ、段々申上ゲマシタ制度ニ依ツテ軍
需會社等ト金融機關トノ結ビ付キハ、
謂ハバ公ノ結合付キト申シマスカ、單
ナル個々ノ自由意思ニ基ク取引ト自ラ
性質ガ違フ點ガアルノデアリマス、即
チ各種ノ軍需會社等ヲ通ジマシテ、ド
ノ受持ノ金融機關カラモ、大體同ジヤ
ウナ條件ノ下ニ金融ガ行ハレテ參ルト
云フコトヲ必要トスル場合モゴザイマ
ス、單ニ當事者間ノ話合ヒダケデ任意
ニ各種ノ條件ヲ定メテ宜ト云フ譯ニ
モ参リマセヌノデ、茲ニ必要ガアリマ
ス場合ニハ、其ノ資金ノ融通テアルト
カ、或ハ貯金、預金ノ受入トカ、只今
申上ゲマシタ出納事務ノ引受ナドニ付
キマシテ、利率トカ期限トカ手數料ト
カ、各種ノ條件ヲ政府ノ方カラ命令シ
得ルト云フ規定ヲイタ譯デアリマス、
現在モ是ハ金融統制會ノ統制規定
等ヲ運用致シマシテ、統一的な條件ノ
下ニ軍需融通ヲ行ツテ居ルノデゴザイ
マス、ソレカラ第十一條ハ、是ハ軍需
金融ヲ疏通致シマスル上カラ致シマシ

テ必要ガアリマス場合ニ、營業所ノ設
置又ハ廢止、或ハ宗款ノ變更ナド、其
ノ軍需會社ハ、前ニ申述ベマシタヤウナ
出納事務的ナコトヲ其ノ指定サレタ金融
機關ニ賴ム方ガ總ア事務能率ガ良イト、
斯ウ、認メタ場合ニハ、會社自體ニ對シ
マシテ、其ノ會社ノ事務ハ指定サレタ
金融機關ニ委託セヨト云フコトニモシ
得ルト云フコトニ規定致シテアルノデ
アリマス、即チ第九條ハ只今申上ゲマ
シタヤウナ趣旨ニ於キマシテ緊密ナル
聯繫ニ下ニ資金ノ效率的ナ使用ヲモ圖
ツテ参リタイ、斯様ナ趣旨ノ規定ニナ
ツテ居リマス、ソレカラ第十條ノ規定
ハ、段々申上ゲマシタ制度ニ依ツテ軍
需會社等ト金融機關トノ結ビ付キハ、
謂ハバ公ノ結合付キト申シマスカ、單
ナル個々ノ自由意思ニ基ク取引ト自ラ
性質ガ違フ點ガアルノデアリマス、即
チ各種ノ軍需會社等ヲ通ジマシテ、ド
ノ受持ノ金融機關カラモ、大體同ジヤ
ウナ條件ノ下ニ金融ガ行ハレテ參ルト
云フコトヲ必要トスル場合モゴザイマ
ス、單ニ當事者間ノ話合ヒダケデ任意
ニ各種ノ條件ヲ定メテ宜ト云フ譯ニ
モ参リマセヌノデ、茲ニ必要ガアリマ
ス場合ニハ、其ノ資金ノ融通テアルト
カ、或ハ貯金、預金ノ受入トカ、只今
申上ゲマシタ出納事務ノ引受ナドニ付
キマシテ、利率トカ期限トカ手數料ト
カ、各種ノ條件ヲ政府ノ方カラ命令シ
得ルト云フ規定ヲイタ譯デアリマス、
現在モ是ハ金融統制會ノ統制規定
等ヲ運用致シマシテ、統一的な條件ノ
下ニ軍需融通ヲ行ツテ居ルノデゴザイ
マス、ソレカラ第十一條ハ、是ハ軍需
金融ヲ疏通致シマスル上カラ致シマシ

テ必要ガアリマス場合ニ、營業所ノ設
置又ハ廢止、或ハ宗款ノ變更ナド、其
ノ軍需會社ハ、前ニ申述ベマシタヤウナ
出納事務的ナコトヲ其ノ指定サレタ金融
機關ニ賴ム方ガ總ア事務能率ガ良イト、
斯ウ、認メタ場合ニハ、會社自體ニ對シ
マシテ、其ノ會社ノ事務ハ指定サレタ
金融機關ニ委託セヨト云フコトニモシ
得ルト云フコトニ規定致シテアルノデ
アリマス、即チ第九條ハ只今申上ゲマ
シタヤウナ趣旨ニ於キマシテ緊密ナル
聯繫ニ下ニ資金ノ效率的ナ使用ヲモ圖
ツテ参リタイ、斯様ナ趣旨ノ規定ニナ
ツテ居リマス、ソレカラ第十條ノ規定
ハ、段々申上ゲマシタ制度ニ依ツテ軍
需會社等ト金融機關トノ結ビ付キハ、
謂ハバ公ノ結合付キト申シマスカ、單
ナル個々ノ自由意思ニ基ク取引ト自ラ
性質ガ違フ點ガアルノデアリマス、即
チ各種ノ軍需會社等ヲ通ジマシテ、ド
ノ受持ノ金融機關カラモ、大體同ジヤ
ウナ條件ノ下ニ金融ガ行ハレテ參ルト
云フコトヲ必要トスル場合モゴザイマ
ス、單ニ當事者間ノ話合ヒダケデ任意
ニ各種ノ條件ヲ定メテ宜ト云フ譯ニ
モ参リマセヌノデ、茲ニ必要ガアリマ
ス場合ニハ、其ノ資金ノ融通テアルト
カ、或ハ貯金、預金ノ受入トカ、只今
申上ゲマシタ出納事務ノ引受ナドニ付
キマシテ、利率トカ期限トカ手數料ト
カ、各種ノ條件ヲ政府ノ方カラ命令シ
得ルト云フ規定ヲイタ譯デアリマス、
現在モ是ハ金融統制會ノ統制規定
等ヲ運用致シマシテ、統一的な條件ノ
下ニ軍需融通ヲ行ツテ居ルノデゴザイ
マス、ソレカラ第十一條ハ、是ハ軍需
金融ヲ疏通致シマスル上カラ致シマシ

モ「バツク」スル、斯ウ云フ體制ヲ作ルコトガ必要デゴザイマス、是ハ現在デモ軍需融資協力團ト云フ名ノ下ニ、仲間ノ金融機關ヲ一ツノ團體ニ繩メマシテ、受持ノ金融機關ノ背後ニ居ラセテアル全體ト致シマシテ金融界内部ニ於キマシテハ、ドコ迄モ全體ノモノガ一致シマシテ、同ジャウナ步調ノ下ニ團結ヲシテ生産資金ノ増強ニ支障ナカラシメルト云フ趣旨ガゴザイマスルノデ、ソコデ此ノ十四條ノ規定ニ依リマシテ、金融界内部ノ協力關係ヲ確實ニ致シテ参りタイト云フ趣旨デゴザイマス、ソレカラ十五條モ軍需金融ニ關スル事項デゴザイマスガ、是ハ工場財團其ノ他ガ擔保源ヲ設定致シマスル場合ハ、御承知ノ通り只今非常ニ複雜ナ手續デヤツチ居ルノデゴザイマス、ソレハシツカリシタ手續デヤリマセヌト、其ノ軍需會社ナドハ他ノ金融機關カラモ各種ノ貸借關係ガ生ジテ參ル關係デアリマスルカラ、ソユデドウシテモ債權者トシテハハツキリシタ抵當權ノ設定ガ必必要ニアツタノデゴザイマス、處ガ段々申デアツタノデゴザイマス、處ガ段々申上ダマシタヤウナ趣旨テ、資金ノ融通ヲ受持ソ金融機關ガ一人ニナツテシマテ云フコトデアリマスルト、何モサアリマスカラ、ソコデ比ノ第十五條ノ規定ニ依リマシテ、現在非常ニ詳細ナ規定ガアリ、又複雜ナ手續ヲ必要トシサレルト云フ虞ガ少クナツテ居ル譯アリマス財團抵當ノ設定ニ付キマシテハ、一々内容ヲ書出ス迄モナク、一

括シテ財團ガ設定サレテ居ルト云フコトニ、極力手續ノ簡素化ヲ圖ツタノデゴザイマス、是ハ現在テハ所謂「ネガティヴ・クローズ」ト云フ名ノ下ニ、契約上、債權者ノ要求ガアレバ、何時モ抵當權ヲ正式ニ設定スルト云フ其ノ書類ヲ一切整ヘマシテ債權者ニ渡シテ置キマシテ、實際上ハ正規ノ抵當權設定ノ手續ヲ執リマセヌデ、默ツテ第三者ニ抵當權ヲ設定スルヤウナコトハシナイト云フ約束ノ下ニ、手續ノ簡素化ヲ圖ツテ居リマスコトヲモット法制化スル必要ガアリマスルノデ、此ノ十五條ノ簡易規定デ、其ノ缺點ヲ補ツテ行カウト云フ趣旨デ設ケタノデゴザイマス、此處迄ガ軍需金融ニ關シマスル各種ノ事項ニナツテ居リマス、十六條以降ハ、今度ハ單ニ軍需金融ヲ擔當シマス金融機關ハカリデナク、一定ノ範圍ノ金融機關ニ付キマシテ事務ノ簡素化ヲ圖リマスル爲ニ必要ナ規定ヲ設ケアルノデゴザイマス、即チ十六條ニ書イテアリマスルコトハ現在金融機關ノ整備統合ナドノ場合ニ於キマシテ、營業譲渡ト云云コトガ屢々行ハレテ居ルノデゴザイマスルガ、民法ノ原則ニ依リマスレバ、一々預金者其ノ他ノ債權者ノ同意ニ要スル複雜ナ手續ヲ必要トスル次第アリマスルケレドモ、併シナガラ最近ノヤウニ金融界整備ノ方針が進行致シマスルニ連レマシテ、左様ナ煩雜ナ場合ガ簡捷化シテ參ラウト云フ趣旨ノ規定デ、是ハ左様ナ場合ノ手續ノ簡素化ヲ圖リマスル爲ニ公告ニ依ツテ其ノ手續ヲ執リマシタ結果ノ必要ナ規定デゴザ

イマシテ、何レモ手續ニ屬スル事柄デ
ゴザイマス、ソレカラ第十七條ノ
規定モ矢張リ簡素化ノ趣旨ノ規定デゴ
ザイマス、預金契約ナドハ御承知ノ
ヤウニ甲乙丙丁、總テ同ジ條件ノ下ニ
契約ガ實際上行ハレテ居ルノデゴザイ
マスルガ、例ヘバ金利ヲドウスルトカ、
或ハ其ノ他ノ細カイ色々ノ手續ノ條件
ヲ變ヘヨウト云フ場合ニハ現在ノ法律
ノ下ニ於キマシテハ色々ナコトニ付テ
變更ニ關スル所要ノ手續ヲ履マネバナ
ラヌコトニナツテ居ルノデアリマスケ
レドモ、非常ニ多數ノ預金者ナドヲ相
手ト致シマシテ、一々其ノ手續ヲ履ム
コトハ誠ニ煩ニ堪ヘマセヌシ、又其ノ必
要モナイ譯ナノデゴザイマス、ソコデ
此ノ十七條ヲ置キマシテ、左様ナ提携
的ナ契約ノ下ニ多數ノ人ガ行ツテ居ル
預金契約ナドニ付テハ一々複雜ナ手數
ヲ要スルコトナク、公告ノ方法ニ依ツ
テ其ノ約款ノ變更ヲシテ宜イト云フ趣
旨ノコトヲ規定致シタノデアリマシテ
十六條ト合セマシテ、簡素化ノ規定ニ
ナツテ居リマス、十八條モ亦金融機關
ガ出シテ居リマス各種ノ債券或ハ興業
債券デリマストカ、戰時金融庫債券
デアリマストカ、各種ノ債券ナドニ付
キマシテ、古イ頃ノ契約ニ依リマスト、
必ず抽籤償還ヲ行ハケレバナラヌト
云フコトガ書イテアルノデゴザイマス、
然ルニ實際ノ狀況カラ申シマスト、強
ヒテ抽籤償還ノ方法ニ依ツテ償還ヲシ
テ行カナケレバナラヌト云フ必要ハナ
イノデアリマス、又實益モナイノデアリ
マス、ニモ拘リマセズ、古イ契約ニハ
此ノ抽籤償還ニ依ルト云フコトガ書イ
テアルノデゴザイマスカラ、左様ナモ
ノニ付キマシテハ政府ノ認可ヲ受ケマ
シテ、必ずシモ抽籤ニ依ラナクテモ宜

シイト云フコトヲ此ノ十八條デ規定致
サウト云ノノデゴザイマス、即チ是ハ
矢張リ手續ノ簡素化ニ關スル條項デゴ
ザイマス、十九條モ是モ金融機關ノ株
主總會ノ事柄ニ關シマシテ、極ク決リ
切ツタ、強ヒテ正規ノ手續ヲ履ム迄モ
ナイト云ノヤウナ簡易ノ事柄ニ關シマ
シテハ、通信其ノ他各種ノ狀況ガ非常
ニ窮窟ニナツテ參リマスル此ノ際、此
ノ第十九條ノ規定ニ依リマシテ、極力
手續ノ簡素化ヲ圖ラウト云フ趣旨ノ規
定デゴザイマス、ソレカラ第二十條ハ
是ハ現在各種ノ金融機關ニ關シマシテ
其ノ業務上ノ制限或ハ取締等ノ規定ガ
色々細カク規定サレテアル場合ガアル
ノデアリマス、併シナガラ其ノ數多イ
事項ヲ此ノ段々遷リ變ツテ參リマス時
代ニ應ジマシテ、逐次ニ一々變ヘテ參
ルト云フコトハナカヽ煩瑣ナ事柄デ
アリマスルノデ、ソニヨニ業務ノ制限ト
カ取締トカ放ソテ置ケバ爲シ得ベキ業
務ノソレノ特ニ制限サレテ居ルト云フ
モノニ付キマシテハ、現状ヲ恢復スル
ト云フヤウナ勵キヲ、第二十條ノ下ニ、
勅令デ其ノ適用ヲ排除スル、又特例ノ
設置ヲ致シマシテ其ノ時々ノ機ヲ逸セ
ザル措置ヲ講ジテ參リタイト云ノガ
第二十條ノ趣旨デゴザイマス、茲迄ガ
主トシテ金融機關ニ對スル手續ノ簡素
化ノ規定、又二十條ハ今申上ゲマシタ
チヨツト種類ノ變ツタ規定デゴザイマ
スガ、要スルニ金融機關ノ業務ニ關ス
ル規定デゴザイマス、第二十一條ガ今
度ハ軍需會社其ノ他人ノ事業者ノ方ニ對
スル規定デゴザイマスガ、是ハドウモ
資金ヲ得マスルノニ付キマシテ或ハ借
入金ニ依リ、或ハ社債ニ依ツテ乃至ハ
増資拂込ノ方法等ニ依リ、各種ノ方法

ヨ政府ノ施策ノ一部ニ取容レテ活用ス
ルコトガ出来レバ是ハ非常ニ善イ譯デ
アリマス、ソコニ政府ガソレ等ノ法例
ニ基ク検査權限ヲ實行政シマス場合、
今申シマシタ日本銀行其ノ他ノ金融機
関ナドノ職員ニ適當ナル人ヲ、之ヲ政
府ノ事務ヲ行フ爲ノ手足ト致シマシ、
其ノ仕事ニ從事サセルコトガ出来ルト
云フコトニ此ノ二十二條ニ致サウト云
フノデゴザイマス、併シナガラ左様ナ
場合ニ於キマシテハソレ等ノ職員ノ任
務ハ非常ニ重要ナ譯デアリマスカラ、
ソコニ第二項ニ於キマシテ罰則ノ適用
ニ關シマシテハ官吏ト同ジヤウニ取扱
ツテ行キタイト云フコトヲ規定セラレ
テ居ルノデアリマス、二十三條ハ是ハ
念ノ爲ノ規定デアリマスカ、第二條デ
金融機關ヲ指定シテ軍需會社等ニ對ス
ル資金金融通ノ選擇ヲ行ハセマス結果ト
致シマシテ、若シ適當デナイヤウナ場
合ガアリマシタナラバ、其ノ規定ヲ取
消スコトガ出来ルト云フ意味ノコトガ
書イテアルノデアリマス、二十四條モ
矢張リ同ジヤウナ趣旨デ、若シモ此ノ
制度ヲ運用シテ行ク場合ニ適當デナ
イ、差支ガアルト思ハレル場合ニハ役
員ノ解任ガ出来ルト云フコトヲ規定シ
テ居ルノデゴザイマス即チ二十三條、
二十四條ノ規定ニ依リマシテ金融機關
等ニ非常ニ重要ナ職務ガ與ヘラレルト
致シマスレバ、ソレニ件ヒマシテ當然
政府ハソレニ付テ十分監督ヲスル、又
其ノ監督ガ十分ニ行ハレテ居ルト云フ
コトデナケレバ事業會社ナドモ安心シ
テ此ノ制度ニ信頼スルコトガ出來ナク
ナル譯デアリマスカラ、ソレニ付テ二十三
條、二十四條デ其ノ點ハ十分政府ノ方
デ見テ居ルト云フヤウナ趣旨ヲ表サウ
トシテ居ルヤウナ譯デアリマス、尙附

則ノ貯蓄銀行法ノ改正ヲ行シテ居リマス
スガ、是ハ貯蓄銀行法ノ第十五條ニ於キマシテ、現在貯蓄金ニ對シマンシテ重役ノ連帶責任ノ規定ガアルノデアリマス、處ガ御承知ノヤウニ今日デハ貯蓄預金ハ單ニ貯蓄銀行ダケデ扱ツテ居ルノデハアリマセヌ、各種普通銀行ニ兼營ヲ認メラレテ居リマスシ、又其ノ金融機關モ同ジク國民貯蓄ノ增强ニ當ツテ居ルノデアリマスガ、特ニ貯蓄銀行ニ此ノ規定ガアリマス爲ニ、例へバ貯蓄銀行ガ合併ヲ致シマスルヤウナ場合、左様ナ場合ニ於テ其ノ規定ガ適任者ヲ得ル妨げヲ爲シテ居ルト云ニヤウナ場合モアルノデアリマス、一方貯蓄銀行ノ内容ニ關シマシテハ、今日十分ナル金融統制ノ下ニ於キマシテ何等懸念スルニ及バヌノデアリマスカラ、即チ此ノ規定ガナクテモ預金スル方ニアリマス、尙最初ニ申上ゲマシタ通り、此ノ規定ニ於キマシテ貯蓄銀行法第十五條ノ改正ヲ致シタイ、斯様ニ致スケトカ、勅令ヲ以テ定ムルトカト云フデアリマス、之ヲ申上ゲマシタ通り、此ノ法律ノ中ニ命令ヲ以テ定ムルトカト思ヒマスカト、是ハ更ニシニケイカト思ヒマスカト、別ニ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス
○政府委員(小笠原三九郎君) ソレデ
ハ命令ノ定ムル所トカト云フヤウナ命令事項ノ内内容ヲドウ考ヘテ居ルカト云フコトニ付テ逐條のニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、第二條ニアリマスガ、此ノ本條ヲ適用スル事業者ハ左ノ者トスルト云フ考デゴザイマス、即チ一、軍需會社、二、特別ノ法令ニ基キ設立セ

入金多額ナル者、其ノ他大藏大臣ニ於テ軍需金融機關ヲ指定スルヲ適當ト認ムル者、斯様ニ指定シテ行キタイ考デ居リマス、更ニ軍需金融機關ノ指定ハ甲種及乙種ノ二種類致シマシテ、甲種ノ方ハ全般的ナ資金ノ融通ヲ爲スモノ、乙種ノ方ハ局部的ナ、部分的ナ資金ノ融通ヲ爲スモノトスルコト、即チ地方ノ會社トカ或分工場トカ或ハ支社トカ、サウ云フ所ニ資金ノ融通ヲ爲スモノ、斯ウ云フコトニ致シタル場合ヲ居リマス、ソレカラ戰時金融金庫ハ各事業者ニ對スル軍需金融機關ト致シマシテ、別段ノ指示ヲ爲シタル場合ヲ除キ、甲種軍需金融機關ガ擔當事業者ノ事業ニ適實ナル遂行ニ必要ナル資金ニシテ之ニ應ジ難キモノ、是ハ先刻デヨツト御話ノゴザイマシタ第五條ノ場合デゴザイマス、及高度ノ機密性ヲ有スル資金ノ融通ヲ擔當スルコト、ソレカラ擔當軍需金融機關ヲ指定シタル時ハ、其ノ名稱、擔當事業者名及甲種乙種ノ別ヲ告示スルコト云フコトニ致シタイト存ジテ居リマス、ソレカラ更ニ此ノ第二項ノ金融機關ノ範圍デゴザイマスガ、是ハ本法ニ依リマス場合ハ軍需金融機關ニ限リマセヌデ、其ノ範圍ハ機關ノ範圍ハ、銀行、信託會社、保險會社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融金庫、東洋拓殖株式會社、道府縣農業會、市町村農業會、市街地信用組合、無盡會社其ノ他主務大臣ノ指定セルモノ、例へバ南方開發金庫、斯ウ云フモノヲ謂フノデアリマス、ニ對シ資金ノ融通ヲ爲シ得ル場合ハ概ニ左ノ各號ノ場合トスル考デアリマス、

一ハ日本興業銀行等ガ船舶建造又ハ賣
受資金ノ融通ヲ爲ス場合、二ハ労務者
住宅資金其ノ他ノ預金部資金ノ融通ヨ
爲ス場合、三ハ外地又ハ外國ニ於テ資
金ノ融通ヲ爲ス場合及南方開發基金車
庫等ノ融通ヲ爲ス場合（内地ニ於テ資
金ノ融通ヲ爲ス場合ヲ含ム）四ハ戰時
災害ニ際シ應急ニ資金ノ融通ヲ爲ス
場合、五ハ其ノ他大藏大臣ノ指定スル
場合（例ヘバ指定ヲ受ケタル際ノ經費
的ナル舊來ヨリノ契約ノ實行）等ニ仕
キマシテ、斯様ナ場合ニ資金ノ融通ヨ
爲シ得ルノデアリマス、ソレカラ第七
條デゴザイマスガ、軍需金融機關方
ノ指定ヲ受ケタル限度ヲ超エテ貸出
爲シ得ル場合ハ概不左ノ通リトスル
トト云フ考デゴザイマス、一ハ臨時資
金調整法ニ依リ許可ヲ受ケ若ハ自治調
整ニ依リ日本銀行ニ協議ヲ爲シノモ要
認ヲ受ケタル場合、二ハ銀行等資金運
用令ニ依リ命令ヲ受ケタル資金ノ融通
ヲ爲ス場合、三ハ本令ニ依リ大藏大臣
ノ許可ヲ受ケタル場合、斯様ニ第六條
ノ第一項ニ付テハ命令事項ノ内容ヲ
メテアルノデアリマス、ソレカラ第九
條デゴザイマスガ、第九條ノ命令事項
ノ内容ハ、擔當事業者ノ請求ニ依リ電
信金融機關が取扱フコトヲ要スル代
受拂事務ハ概不擔當事業者ノ預金勘定
ニ依ル振込振替ノ方法ニ依ル受拂事務
トス、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマス、
ソレカラ第十二條ノ命令事項ノ内容ハ
一ガ特別ノ積立金ノ積立標準及時期
ニ依ル事務ハ概不擔當事業者ノ預金勘定
ニ依ル振込振替ノ方法ニ依ル受拂事務
トス、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマス、
シ得ベキモノトスルコト、三ガ右横ナ
損失ヲ補填スル時又ハ一定ノ利益回
ヲ爲スコトヲ得ザル時ハ積立金ヲ使田
ヲ定ムルコトデアリマス、二ガ擔當事
業者ニ對スル資金融通ニ因リ生ジタル
金ノ税法上ノ減免方法ヲ定ムルコト、

斯ウ云フコトヲ第十二條ノ命令事項ノ
内容ト致シテ居ルノデアリマス、更ニ
第十三條ノ命令事項ノ内容ハ、主務大
臣ハ必要ニ致ジ擔當車需金融機關以外
ノ金融機關ニ對シ擔當事業者ヨリノ預
金等ノ受入ヲ制限又ハ禁止スペキコト
ヲ命ジ得ルコト等トスルコトヲ云フ考
デゴザイマス、更ニ第十四條ノ協力セ
シムル爲必要ナル命令ト申シマスノハ
資金ノ供給、店舗ノ貸與、代理業務、
職員ノ援助等ヲ爲サシム、斯ウ云フ命
令事項ノ内容デアリマス、更ニ第十五
條ノ命令事項ノ内容ハ、財團目錄ヲ調
製スル場合ニ一括表示シ得ル物件ノ種
類及記載方法ヲ定ムルコトト云フコト
デアリマス、第十六條ノ命令事項ノ内
容ハ、一ガ營業ノ譲渡又ハ讓受ノ決議
ヲ爲シタル場合ニ於ケル債權者ニ對ス
ル通知ヲ公告ヲ以テ爲シ得ル金融機關
ハ銀行及信託會社トスルコトト云フコ
トスルコトト云フ考ヘ方デゴザイマス、
ソレカラ第十七條ノ金融機關ト申シマ
スノハ、是ハ銀行及信託會社トスルト
云フ考ヘ方デゴザイマス、第十八條ノ
命令事項ノ内容ハ、第一號ガ本條ノ金
融機關關ハ、第一項ハ社債其ノ他ノ債券
ヲ發行スル金融機關、第二項ハ銀行及
信託會社トスルコトト云フ考ヘ方デゴ
ザイマス、ソレカラ更ニ第一號ニ於キ
マシテ、抽籤ノ方法ニ依ル社債其ノ他
ノ債券ノ償還ヲ爲サザル場合ハ買入償
却ヲ爲スモノトスト云フ考デゴザイ
マス、第十九條ノ命令事項ノ内容ハ、
軍需金融機關及協力金融機關ノ代表役
員ガ、本法ニ依ル主務大臣ノ命令事項
ヲ執行スル爲特ニ必要アリト認メル場
合ニ於テ、主務大臣ノ認可ヲ受ケタル

トキハ、株主總會ノ決議ヲ要スベキ事項ニ付テ其ノ手續ヲ經ルコトヲ要セザルコト、並ニ銀行、信託會社等ノ定款ノ變更ハ、目的ノ變更ノ場合ヲ除キ、普通決議ヲ以テ足ルモノトスルコト、
斯様ニスルト云フ考デゴザイマス、更ニ第二十條ハ、一、特殊銀行等ガ軍需金融機關又ハ協力金融機關トナリタルトキハ、擔當事業者ニ對シテ各當該法令ノ規定ニ拘ラズ無擔保貸付等ヲ爲シ得ルコト、二、銀行及信託會社ガ命令ヲ受ケ定款變更又ハ營業所ノ設置又ハ廢止ヲ爲ス場合ニ於テハ、届出ヲ以テ足ルモノトスルコト、三、貯蓄銀行法等ニ依ル銀行ノ貯蓄預金等ニ對スル國債等ノ供託ハ之ヲ要セザルモノトスルコト、

四、貯蓄銀行法ノ規定ニ依ル貯蓄銀行ノ一銀行又ハ一信託會社ニ對スル預金・信託財產等ノ總額ニ付テノ制限ハ之ヲ廢止スルコト、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、更ヨ第二十一條ノ命今事項ハ、必要ニ應ジ主務大臣ハ事業者ニ對シ主務大臣ノ指示スル調達方法ニ依ツテ資金ヲ調達スベキコトヲ命令シ得ルモノトスルコト、是ハ先刻チヨツト御話アリマシタヤウニ、或ハ株式拂込ニ依リ、或ハ社債ニ依ル借入金ニ依ル、斯ウ云フ意味デゴザイマス、第二十二條ノ命令事項ハ、第一、金融統制團體ノ職員ニシテ検査事務ニ從事セシムル者ハ、差管リ全國金融統制令ノ職員トスルコト、第二、職員ガ本條ニ依リ検査事務ニ從事スルトキハ、其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシメルコト、斯様ニコトヲ命令事項トシテ規定致シテ居ル次第ゴザイマス

○委員長(鶴田東郷安君) 是ヨリ御質問ヲ願ヒマス

○有賀光豊君 今ノ御説明ニ付テチョ

ツト伺ヒタイノデスガ、大事業從來一社デ數行取引シテ居ルモノハ、其ノ甲金融機關ト云フモノヲ今度一本ニスルコトニナリマスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 大體一本トスル考ヘ方デゴザイマス

○有賀光豊君 サウシマスト、今度ハ一事業會社ガ數箇所ニ事業場ヲ持ツテ居ル場合ハ、一般的ノ甲金融機關ト地方ノ乙金融機關、斯ウニツニナルノデスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 左様ニ相成リマス

○有賀光豊君 ソレカラ朝鮮、臺灣等ノ外地ニハ是ハ適用ニナリマスカ、外地制令律令ガ又出マスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 差當リシタイト思ヒマス

○有賀光豊君 サウ致シマスト、外地ニハ適用シナイコトニ致シテ居リマスガ、

○有賀光豊君 本店ガアツテ内地ニ工場ヲ持ツテ居ルモノハ、ソレハ此ノ法令ニ依リマシテ、乙金融機關ダケガ指定ニナルノデアリマスカ

○政府委員(鶴田光男君) 只今御尋後日必要ニ應ジマシテ考フルコトニ致

○有賀光豊君 本店ガアリマシテ、此方ノ方ニ事業場ヲ持ツテ居リマスガ、

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ御話デ、例へバ朝鮮等ニ於テ本店ガアリ、此方ノ事業場ノ資金ヲ朝鮮銀行ト此方ニ送金シテ、内地ノ事業資金ヲ貯

○有賀光豊君 本店ガアリマシテ、此方ニ送金シテ、内地ノ事業資金ヲ貯

○有賀光豊君 分ダケヲ一纏メニ今度致シタ

○有賀光豊君 ソレデハ何デスカ、新規ニ内地ニ於ケル事業場擴張ラスルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、矢

○有賀光豊君 合ニハ、其ノ内地ニ調達シテ居リマス

○有賀光豊君 云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、矢

○有賀光豊君 依リ検査事務ニ從事スルトキハ、其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシメルコト、斯様ニコトヲ命令事項トシテ規定致シテ居ル次第ゴザイマス

○委員長(鶴田東郷安君) 是ヨリ御質問ヲ願ヒマス

○有賀光豊君 今ノ御説明ニ付テチョ

乙金融機關ノ指定ト同時ニ、從來外地カラ出テ居ル資金ト云フモノハ、矢張り肩ガ替ルノデアリマスカ

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、外地ノ金融機関カラ調達致シマシテ、内地ノ方ニ送金致シテ、外地ノ金融機關係ニ付キマシテハ、全然此ノ法令ニハ關係ガゴザイマセヌ、從來通り外地デ調達致シマシテ、此方ニ送金致シテ來マンテモ宜シジノデアリマス、サウ致ス積リデアリマス

○有賀光豊君 ソレデハ何デスカ、外地ニ本店ガアリマシテ、内地ニ事業場ガアルモノハ、從來通りノ金融系統デ宜シノデアリマスカ

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ御話デ、例へバ朝鮮等ニ於テ本店ガアリ、此方ノ事業場ノ資金ヲ朝鮮銀行ト此方ノ事業場ノ建設ニ充テルト云フコトデアリマスカ

○有賀光豊君 本店ガアリマシテ、此方ニ送金シテ、内地ノ事業資金ヲ貯

○有賀光豊君 ヨ好ムト好マザルトニ拘ラズ、大藏省トコトデアリマスレバ、從來通りデ一向差支ヘナイト思ツテ居リマス

○有賀光豊君 事業者ガサウ云フコトヨ好ムト好マザルトニ拘ラズ、大藏省トシテ、内地ノ政府トシマシテ、何カ其ノ金融ヲ統一スベキモノハナイデスカ、此ノ場合ニ事業者ノ方ハドチラデ

○有賀光豊君 ヨ好ムト好マザルトニ拘ラズ、大藏省トシテ、内地ノ政府トシマシテ、何カ其ノ金融ヲ統一スベキモノハナイデスカ、此ノ場合ニ事業者ノ方ハドチラデ

○河田烈君 私ノ質問ハサウデハナイ

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ場合ニ於キマシテ、外地ニ事業場ヲ有シテ居リマス内地ノ會社ガ、事業資金トシテ外地ニ於キマシテ資金ヲ借りマスル場合ハ、指定金融機關以外ノモノカラ賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデアリマスカ

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ場合ニ於キマシテ、外地ニ事業場ヲ有シテ居リマス内地ノ會社ガ、事業資金トシテ外地ニ於キマシテ資金ヲ借りマスル場合ハ、指定金融機關以外ノモノカラ賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデアリマスカ

○河田烈君 只今ノ有賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ、例ド反対ノ場合ハドウナルノデスカ、例トシヨウスル場合ニ、其ノ内地ノ金融機關ハ指定サレルガ、外地ノ金融機

係ノ者ガ朝鮮ニ本社ヲ持チマシテ、富山縣ニ工場ヲ持ツテ居リマス、サウスルト富山縣ノ工場ヲ或程度擴張スルト云フ風ニナルト想像致シマスカ

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノヤウナ場合ニ於キマシテ、内地ニ事業場ヲ持ツテ居リマス、サウスルト富山縣ノ工場ヲ或程度擴張スルト云フ風ニナルト想像致シマスカ

○河田烈君 只今ノ有賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ、例トシヨウスル場合ニ、其ノ内地ノ金融機關ハ指定サレルガ、外地ノ金融機

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ場合ニ於キマシテ、内地ニ事業場ヲ有シテ居リマス内地ノ會社ガ、事業資金トシテ外地ニ於キマシテ資金ヲ借りマスル場合ハ、指定金融機關以外ノモノカラ賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデアリマスカ

○河田烈君 只今ノ有賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ、例トシヨウスル場合ニ、其ノ内地ノ金融機關ハ指定サレルガ、外地ノ金融機

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ場合ニ於キマシテ、内地ニ事業場ヲ有シテ居リマス内地ノ會社ガ、事業資金トシテ外地ニ於キマシテ資金ヲ借りマスル場合ハ、指定金融機關以外ノモノカラ賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ場合ニ於キマシテ、内地ニ事業場ヲ有シテ居リマス内地ノ會社ガ、事業資金トシテ外地ニ於キマシテ資金ヲ借りマスル場合ハ、指定金融機關以外ノモノカラ賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ

○河田烈君 只今ノ有賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ、例トシヨウスル場合ニ、其ノ内地ノ金融機關ハ指定サレルガ、外地ノ金融機

○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ場合ニ於キマシテ、内地ニ事業場ヲ有シテ居リマス内地ノ會社ガ、事業資金トシテ外地ニ於キマシテ資金ヲ借りマスル場合ハ、指定金融機關以外ノモノカラ賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ

○河田烈君 只今ノ有賀委員ノ御質問ト反対ノ場合ハドウナルノデスカ、例トシヨウスル場合ニ、其ノ内地ノ金融機關ハ指定サレルガ、外地ノ金融機

○政府委員(橋田光男君) 外地ニ本店
ガアリマスル事業會社ガ内地デ資金ヲ
調達致シマス場合ハ、矢張リ内地ニ代
表者ガ居ルト思ヒマスノデ、先程ノ問
題ト丁度同じニナリマスガ、内地デ資
金ヲ調達シマス分ニ付テダケ、内地デ
當該會社ガ事業者トシテ指定サレル、
斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス
○河田烈君 内地ニ代表者ガアルト云
ツテモ、ソレハホンノ機關デ、或ハ支
店ナリ何ナリガアリマシテモ、外地ニ
本店ヲ有シ而モ外地デ仕事ヲシテ居ツ
テ、支店カ代表者ガ内地ニアルモノダ
ケヲ事業會社トシテ指定スルト云フノ
ハ、チヨツト受取レナイノデスガ、サ
ウ云フコトデスカ

資金ノ融通ヲ受ケル時ニハ、自然ト外
地ニモ矢張リ其ノ限りハ適用セラル、
ト云フコトニナリ、又今丁度有賀委員ノ
言ハレタヤウニ、外地テ資金ヲ調達シ
テ内地デ事業ヲスルト云フヤウナ場合
ニハ、内地ノ事業會社ハ事業トシテハ
矢張リ今度ハ事業會社トシテ指定サレ
ルト云フコトニナリ、從ツテドツチカ
ガ指定サラレレバ、矢張リ此ノ法律ハ
自然ト外地ニモ適用セラレルト云フ結
果ニナル解釋シテ宜シイノデセウカ
○政府委員(鶴田光男君) 只今ノ法律
ノ適用サレマス範圍ハ、外地ノ取引デ
ハアリマセヌデ、内地ニ行ハレマス取
引ヲ對象ト致シマスノデ、其ノ施行ハ
内地ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマ
スガ、只今御話ノヤウナ色々ナ場合ニ
於キマシテハ、此ノ制度ノ效果ガ外地
ニ迄及シデ行クト云フコトハ考へラレ
ルガ、直接ノ施行ハ朝鮮ナリ臺灣ナリ
ニ於ケル取引ニハ及サナイ、斯ウ云フ
コトニナリマス

○政府委員（小笠原三九郎君）　御尋ノ點ハ誠ニ御尤モナ點デゴザイマシテ、ノデスカラ、左様ナコトヲ現實ノ問題トシマシテ御不便ガナイト云フ風ニ考ヘテ居ツタノデアリマスルガ、適用上今ノ御趣意ノ點ヲ能ク體シマシテ、何等御不都合ガナイヤウニ取計ラヒタイト存ジテ居リマス

○河田烈君　有賀委員ノ御質問、御意見ニ關聯シテ居ルノデアリマスガ、此ノ法律ガ外地ニ此ノ儘、軍需會社法ノ如ク適用セラレ、バ格別デアリマスガ、他ニモ制令、律令等ガ出ルト云フコトニナルト、指定ヲ何處デシテ吳レルカ、大藏省デスルノカ、外地ノ行政府デスルノカ、同ジャウナコトガ二ツ重ナツテ、内地デ資金ヲ調達シ、外地デ仕事ヲシヨウト云フ場合ニハ、一々兩方ノ認可トカ命令ヲ受ケルト云フコトニナルト、非常ニ複雜スルト思フノデアリマスガ、其ノ邊ヲ、若シ只今丁度政務次官ノ御詔ノヤウニ御考究ニナルト云フナラバ、同ジコトヲ兩方デ一々命令ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナラヌヤウニシテ戴カヌト、非常ニ複雜ヲ極メル、斯ウ思ヒマス

○政府委員（小笠原三九郎君）　此ノ問題ニ付キマシテハ、目下朝鮮總督府及臺灣總督府等トモ相談致シテ居リマスガ、臺灣總督府ノ方ニ付テハ大體コチラノ方デ、中央デヤリタイ、朝鮮ノ方ハ目下協議中デゴザイマス、唯實施ニ當リマシテハ今河田委員ノ仰セラレタヤウナ御不便ガナイヤウニ取計ラヒタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○河田烈君 サウスルト今迄ハ社債ノ引受ニ「シンヂケート」團デ前借金ヲシテ置イテ、此ノ社債デ肩章ヲスルト云
「シンドヂケート」團ニ賴マナケレバナラ
スマト云フコトニナル譯アリマスカ
○政府委員(柳田光男君) / 社債ノ前貸
ニ當リマス融資ノ方ハ指定金融機關が擔當致シマス、ソレヲ今度ハ社債ノ方
ヲ引受ケマス時、振り替ヘマス時ニハ其
ノ御世話等ハ結局「シンヂケート」團員
ニ對シマシテ指定金融機關ガ色々御世
話ヲ致ス、斯ウ云フコトニ相成ラウト
思フノデアリマス

○松本烝治君 外國會社ニモ矢張リ事
業者ニ對シテハ適用ガアルト云フ御話
デゴザイマシテ、至極御尤モニ存ジマ
スガ、二十一條等ハ事業者ニ對シテ必
要ナル命令ヲ爲スコトガ出來ルヤウニ
ナツテ居ルヤウデアリマスガ、外國會
社ニ對シテモ矢張リ此ノ法律ニ依ル命
令ヲ爲サル御積リカト思フノデアリマ
ス、其ノ外國法ニ依ツテ外國ガ其ノ會
社ニ命令ヲスル、或ハ外國ノ法令ニ依
テ命ゼラレルコトト衝突スルヤウナ
コトガアリ得ルカト思フノデアリマス、
外國會社ニモ矢張リ此ノ二十一條ノ命
令ハ爲サル御積リデスカ、又爲サルト
スレバ何カ用意ガアルノカドウカト云
フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(柳田光男君) 仰シャイマ
ス通り第二十一條ハ其ノ外國會社ガ内
地ニ於キマシテ資金ヲ調達致シマス、
其ノ調達方法ニ付キマシテ、或ハ社債
ニ依レ、或ハ借入ニ依レト云フコトハ
指示致シタイト思ツテ居リマス、處ガ

例「バ外國ノ方ノ會社ニ監督其ノ他ニ
ナコトニ相成ラウト思ヒマスガ、コチ
ラカラ調達方法ヲ指示致シマス場合ニ
於キマシテハ、サウ云フ點ヲ十分ニ連
絡ヲ取り、事前ニ調査致シマシテ彼此
齟齬致シマセヌヤウニ、調達方法ヲ、
指示致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次
第デアリマス

○政府委員(山際正道君)　此ノ法律ノ御指摘ノ點ニ對スル建前ハ、或軍需會社ニ對シマシテ或金融機關ガ尖端のニ資金ノ融通ニ當ルノデアリマスケレドモ、其ノ金融機關ノ判断ニ於テ、普通ノ金融的觀念ヲ以テシテハ金融ガ困難ダト云フ場合ニ於キマシテ、ソレヲ寶ハ押付ケテ尙貸セセル義務ト云フモノハ豫定致シテ居ラヌノデアリマス、第五條ノ關係ヲ御警戴キマスト、若シ金融機關自己ノ判断ニ於テ其ノ融資ニ應ジ難イト認メマス場合ニハ、政府ニ其ノ旨ヲ申出ルコトニナツテ居リマス、此ノ投資ハ政府ニ於キマシテ成ル程其ノ金融機關ノ融通トシテ處理スルコトハ困難ト認メラレルモノニ付キマシテハ、或ハ戰時金融庫庫ヲシテ其ノ融資ニ當ラシメルトカ、或ハ總動員法ノ規定ニ依ル資金融通ノ命令ヲ發スル、此ノ命令ニハ御承知ノ通り損失補償ガクツ附イテ居リマスガ、其ノ方法ニ依ツテ資金調達ラスルヤウナコトニナツテ居リマスノデ、一應自己ノ負擔ニ於テ解消出來ルト云フモノニ付テ、此ノ御指摘ノ第十二條ノ關係ガ備イテ參ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○松本烝治君　只今ノ御説明ハ法律的ノ御説明トシテハ甚ダ御尤モデアリマス、其ノ通りダト思ヒマスガ、併シ事實實際ニ於キマシテ斯ウ云フモノガ決ツテ、政府デモ是ハヤラスト云フコトデ、軍等テ御命ジニナツテ、其ノ金ラ指定ノモノニ借りニ行クト、ドウシテモ是ハ危イト思ツテ斷ルト云フヤウナコトハ事實出來マセウカ、是ハ斯ウ云

フモノガ出来テ専屬ノモノガ出来ル以
上、此ノ五條ヲ働カシテ、ドウモは
御斷リシマスト云フヤウナコトヲ言フ
ノハ、餘程ノ場合デナクチヤ私ハ出來
ヌト思フ、其ノ結果トシテ相當危ナサ
ウデモ已ムヲ得ス金融スルコトニ私ハ
ナルト思フ、サウ云フ結果トシテ若シ
ソレノ損失ガ非常ニ大キイ、即チ當事者
ノ過デハナイ、ドウモ無理ニ貸付サ
セタノデ斯ソナコトニナツタト云フヤ
ウナ時ニハ、御考慮ナサルノガ私ハ立
法論トシテハ當然ダト思フ、サウ云フ
場合ハ斯ウ云フ規定ガアルカラ全然ナ
イト迄仰シャラナイデモ宜イデヤナイ
カト思ヒマズ

問題ニ付テ私カラモ、モウ一應念ノ儀
ニ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、先
程來事業會社等ニ付テ外地ノ關係ガ
題ニナツテ居ルデスガ、私ハ此ノ法律
ヲ讀ンデ見テ、是ハ金融ノ方、詰リ金
ヲ貸スノニドウ云フ所ニ金ヲ貸セトカ
貸スナトカ云フ貸ス方面ノ取扱ヒ規定
デ、借りル方面ノ規定トシテハ二十二
條ダケガアルノデアリマス、ソレデア
リマスカラ内地ニ於テ斯ウ云フ事業會
社ニハ誰ガ貸ストカ、斯ウ云フ貸ス方
面ノ取締規定デアリマシタラ、自ラ適
用範囲ハ内地ニ於テ金融ヲ爲スモノノ
此ノ法律ニ依ツテ取締ル、唯事業會社
ハ其ノ對象トシテ指定サレルト云フ反
射作用ニ依ツテ取締ヲ間接ニ受ケルダ
ケデアツテ、直接借りル方ヘノ取締ハ
二十一條ニ依ル命令以外ハナイノデアリマ
ス、サウ云フ考ノ下ニ先程政府委
員ノ説明ヲ伺ツテ居ツテ了解シタノデ
アリマス、色々御質問ノ中ニ借りル方
モ一緒ニ取締ル點ガアルヤウニ伺ツタ
ノデ、其ノ點ヲハツキリ伺ツテ置キタ
イ、サウスレバ自然ニ地域ノ點ナドハ
解消シテシマフト思フノデアリマス
ガ……

○政府委員(櫛田光男君) 只今青木委
員ノ仰シヤマイマシタ通りデゴザイマス

○河田烈君 少シ順序ガ違ヒマシタガ
丁度青木委員ノ御質問カラ……初ニ伺
積リデアツタノデアリマスガ、一體昨
年以來ヤツテ居リマス軍需金融機關判
度ト言ヒマスカ、融資命令デ以テ軍需
會社へ融資ヲ命令シテ居ラレル方法ヨ
ヤツテ效果ガアツタト大藏大臣ハ言ツ
テ居リマスガ、ソレニ何カ御不便ガア
ルノカ、ソレナラバ斯ウ云フ立法ヲスル
必要ガ何處ニアルカ、從來ノ融資命令
デ相當效果ガアルナラバ、斯ウ云フア

○政府委員（山際正道君）　昨年來實施致シテ居リマス所謂指定銀行ノ制度ハ只今融資命令ト云フ御詫ガゴザイマシタガ、所謂融資命令デハゴザイマセマノデ、例ヘバ統制會系統ノ諸法令ニ佐リマシテ、金融統制會ノ統制規定ニ佐テ此ノ内容ニ丁度該當スルヤウナ事柄ヲ實施致シテ居ルト云フコトニ相成ヌテ居ルノデアリマス、ソレダケデナク分デゴザイマセヌ點ハ、例ヘテ見マフト、適用ノ對象トナリマスル利用者ノ範圍ヲ單ニ軍需會社バカリデナク相當擴ゲテ參爾場合トカ、或ハ單ニ資金ノ融通ノミニラズ預金ノ取扱ニ關シテニト、集中ノ方途ヲ圖ルトカ、或ハ又賣買牛金、前受金、前渡金其ノ他ノ出納事務ノ受託ヲ行フトカ、或ハ更ニ進ミマシテ、政府ガ行ヒマス各種ノ検査事務等ニ金融機關ノ職員ヲ活用致シマス等ノ事柄ニ付キマシテハ、是ハ單ニ總務部門ノ法系統ノ法令ダケデハ十分デアリマヌノデ、ドウシテモ新タナル立法ニ生リマシテ其ノ基礎ヲ持チマセヌト實撲致シ兼ネル點ガゴザイマスノデ、旁、ソレ等モ織込ミマシテ、此ノ制度全體ヲ特定ノ法制ノ上ニ基礎ヅケヨウト云コ観點カラ、此ノ法律案ヲ新タニ立案致シタヤウナ次第ゴザイマス
○柴田兵一郎君　此ノ第二條ニ依ル業者ノ數ハ幾ツ位出來ル御見込デゴツモノ及び協力工場等本制度ヲ適用スハイマスカ

テモ出来ル譯デアリマス、現在ノ慣例

ト云フカ、實際ノヤリ取リデハ……
○政府委員(鶴田光男君) 仰シヤイマ

ス通り買入償却ハ自由ニ出来ル譯デア
リマスガ、一定ノ期間ニ一定額ダケハ
必ズ償還シテ行クト云フコトダケハ義

務付ケマセヌト云フト出来ナイモノデ
アリマスカラ、勅令デ以テ抽籤ノ方法

ニ代ヘテ買入償却ノ方法ニ依ツテ原契
約ニ決ツテ居ル一定期間ニ一定額ヲ返

スト云フコトダケハヤツテ行ツテ貰ヒ

タイ、斯ウ云フコトヲ勅令デ決メタイ

ト思フノデアリマス、買入償却デ如何

程、ドレダケヨヤリマスカ、ソレハ債券

発行者ノ方ノ任意ニ相成ツテ居ル譯デ

アリマスカラ、抽籤デ以テ一定額ダケ

ヲ返スト云フコトニ致シタイト思ツテ居ル

譯デアリマス

○松本恭治君 只今ノ政府委員ノ御答

辯ハイケマセヌ、買入償却デ必ズ一定

額返サヌナント言ツテモ賣ル奴ガナカ

ツタラドウシテ買入レラレマスカ、出

來ナイコトヲ仰シヤルヤウニ思フ、ソ

レハ間違ヒデス、此ノ勅令デ抽籤ノ方

法ニ依ラナイト云フコトヲ定メルト云

ハ買入償却ヲサスノハ宜シイケレド

モ、買入償却デ必ズ一定額、百萬圓ト

書イテアレバ百萬圓返セト言ツタツテ、
賣ル奴ガ居ナカツタラドウシテ出來マ

スカ、ダカラ勅令デハ出來ルダケサウ

ト云フコトヲ書イテモ行ハレナイモノ
ダト私ハ思フ、其ノ點ハ御直シニナツ

タ方ガ宜クハナイデスカ
○政府委員(小笠原三九郎君) 松本委
員ノ仰セハ誠ニ御尤モデアリマシテ、
勅令ニ依リマス場合ニハ左様ニ致シタ
イト考ヘテ居リマス

○紫田兵一郎君 第七條ニ「軍需金融
機關ハ其ノ職員ノ中ヨリ各擔當事業者

ニ付軍需金融擔當者ヲ選任スベシ」ト

アリマスシ、又第九條ニハ「當該事業
者ノ賃賣代金、前受金、前渡金其ノ

他之ニ準ズベキモノノ受拂ニ關スル事

務ヲ取扱フベシ」ト斯ウ規定シテアリ

マスガ、御承知ノ通リ金融機關ノ從業

員ノ現狀ト云フモノハ應召其ノ他ノ男

子就業禁止令等ニ依リマシテ、極端ニ

壓縮セラレテ居ルノデアリマス、從ヒ

マンテ軍需金融機關ニ依ツテハ命令サ

レテモ適當勅令ガナイト云フ場合ガ

アルカモ知レマセヌデスガ、斯ウ云フ

ニ付キマシテ、御當局ハドウ云フ風

ニ御考ニナツテ居ラレマセウカ、私ハ

思フニ今後矢張リ斯ウシタ軍需金融機

關ノ儲員ト云フコトニ付テ再配置スル

必要ガアルノデヤナカト云フ風ニ考

ヘテ居ルノデアリマスガ、御所見ヲ承

リタイノデアリマス

○政府委員(山際正道君) 今日金融機

關ノ從事員ガ其ノ仕事が非常ナ激増ヲ

シテ居ルノデアリマスガ、御所見ヲ承

昨年來モ厚生省當局トモ話ヲ致シマシ
テ、一種ノ備貢制度ヲ布イテ居リマス
ルガ、十分勞務ノ確保ニ努力スル半面、
金融機關自體ト致シマシテモ極力手ノ
省ケル所ハ省キマシテ、時局下重點的

要ニ各種ノ方法ヲ執リマシテ、此ノ法

令ニ依ツテ課セラレマスル時局下新シ

ク必要ナ方ニ十分ナル働ガ出來マス

ヤウニ仕向ケテ參リタイ、大體斯様ナ

ハ速カニ充實セラレムコトヲ希望致シ

心組ヲ持ツテ居ル次第アリマス

マス

○河田烈君 先刻伺ヒマシテ誤解シテ

居リマシタノデスガ、其ノ時ニ御答辯

ニアリマシタ通リニ成ル程斯ウ云フ金

融機関デ事業者ト金融業者トノ指定ガ

事業者ニ對スル金融其ノモノハ決ツテ

ノ融通ヲ爲スベキコトハ別途ニ矢

張り存スルノデスカ

○政府委員(山際正道君) 俗ニ命令融

資ト申シテ居リマスノハ、具體的ニ資金

コトヲ通稱左様ニ申シテ居リマスガ、

依然其ノ途ハ殘ル譯デアリマス

○古莊健次郎君 第二條ノ事業者ニ指

定スル場合、是ハ事業者ノ申出ニ依ツ

テオヤリニナルノデスカ、地域的ニデ

スカ、何カ根據ガアリマスノデスカ、

無條件出サレルコトニナリマスカ、
其ノ限度迄ハ……
○政府委員(小笠原三九郎君) 御答へ
致シマス、其ノ限度内ニ於テハ無條件
致貸出し得ルコトニ相成ツテ居リマス

○男爵宮原旭君 第八條ノ軍需金融機
關ノ事務ニ從事スル者ハ公務ニ從事ス

ル職員ト看做ス上ノハ、先程ノ御說

明ダト是ハ大體機密漏洩、ソコラノ點

ニアルト思ヒマス、實際問題ト致シマ

シテ資金融關係ヲヤツテ居リマス非

常ニ機密ノ漏洩ノ虞ガアル、ソレカ

ラ先程ノ適用致シマス事業者側ノ範圍

ガ非常ニ廣イノデアリマス、斯ウ云フ

公務員ト看做スト同ジャウナ方法ヲ事

業者側ノ方ニ適用シナケレバ機密漏洩

ナンカ防ゲナイト思ヒマスガ其ノ點ド

ト存ジマス、是ハ私共實ハ事業ノ方ヲ

擔當致シテ居リマセヌモノアリマス

ハ各時局關係ニ諸事業ニ付テハ、其ノ從

事スル職員ニ付テ誠ニ御尤モナ御尋ダ

ウデスカ

○政府委員(山際正道君) 御指摘ノ點

ハ、戰時金融金庫ガ爲ス所ノ融資ニ對

シテハ非常ナ罰則ガアリ、其ノ他ノ金

融機關ガ爲ス所ノ軍需融資ノ場合ニハ

ガ、サウナリマスト均衡上ト言ヒマス

カ、戰時金融金庫ガ爲ス所ノ融資ニ對

シテハ非常ナ罰則ガアリ、其ノ他ノ金
融機關トシテ資金ノ供給ヲスル譯デアリ
ガ、其ノ場合ニハ罰則ガ役員ノ解任
トカ或ハ指定ヲ取消スト云フヤウナ監
督ノ程度ノ規定シカナイ譯デアリマス
ガ、サウナリマスト均衡上ト言ヒマス
カ、戰時金融金庫ガ爲ス所ノ融資ニ對
シテハ非常ナ罰則ガアリ、其ノ他ノ金
融機關ガ爲ス所ノ軍需融資ノ場合ニハ
ガ、サウナリマスト均衡上ト言ヒマス
カ、戰時金融金庫ガ爲ス所ノ融資ニ對
シテハ非常ナ罰則ガアリ、其ノ他ノ金
融機關ガ爲ス所ノ軍需融資ノ場合ニハ
罰則ガナイト云フコトガ何カ手落ノヤ
ウデモアリマスシ又旁機密漏洩ト言ツ
タヤウナ場合ニ對スル非常ナ心配ガア
ルト思フノデアリマスガ、如何デセウ
カ

○政府委員(小笠原三九郎君) 此ノ罰

則ハ軍需金融機關ダケニ限ツテ居リマ

シテ、本法ニハ色々金融機關ノ管轄業務

ニ付キマシテノ簡素化ガ圖ラレテ居リ

マスノデ、先刻申シマシタ廣イ金融機

關トハ第二條第二項ノ範圍ヲ廣ク申上

ゲマシタケレドモ、罰則其ノ他ノ規定

ハ解任ノ事柄モ軍需金融機關トシテ指

定サレタモノニ限ルノデアリマス、此

ノ法律ニ實ハ外ノ色々簡素化ノコト

ガ盛込ンデアルノデスカラ、チヨツト

其ノ點ガ誤解ガ起キ易イヤウニ存ジマ

スガ、實ハ私共ノ方デハ法令的ニ詳シ

ク承知致シマセヌヤウナ事情デゴザイ

マス

○男爵宮原旭君 只今ノ御答辯ニ大體

相當増シテモゴザイマス、從ヒマシテ

點ハ只今御指摘ノ通りダト思ヒマス、
從ヒマシテ今回此ノ法律ニ依リマシテ、

ニ關聯シテ御尋シタイ、軍需金融機關

ハ法律ニ依ツテモ非常ニ罰則ガアリマ
シテ、今ノ御話ノ公務員トサセルノミ

ナラズ、機密ヲ漏洩シタ場合ニ、役員

初メ關係者ガ嚴罰ヲ受ケルト云フヤウ
ナ規定ガアルヤウニ思フノデアリマス

關ガ、サツキノ御話ノ公務員トシテ、
資金ノ融通ニ關スル限りハ公務員ト看
做サレルト云フコトデアリマスガ、公

○政府委員(山際正道君) 公務員ト看
做サレマス者ニ對スル罰則ノ關係ニ於キマシ
テハ昨年御制定ナリミシタ經濟關係罰則
ノ整備ニ關スル法律ノ中ニ於キマシテ、
ドウナツテ居リマスカ

○政府委員(鶴田光男君) 大體ニ於キ
考へテ、之ヲチヨツト朗讀致シマスト、「公務員若ハ公務員タリ、ソニテ勤令ヲ以テ定ムルモノノ役員其ノ他ノ職員若ハ金庫、會社及組合並ニ此等ニ準ズルモノ以下ノ經濟團體ト稱スニシテ、給又ハ消費ノ統制其ノ他經濟ノ統制ニ關スル官廳又ハ當該經濟團體ノ重要ナル祕密ニシテ職務上知得シタルモノヲ漏泄シ又ハ竊用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス」此ノ規定が勵イテ參ルト思フノデアリマス、又其ノ他公務員一般ニ關スル刑法上ノ問題モ當然此處ハ處理サレルコトト考ヘデ居リマスニ該當シテ參ルヤウニ思フノデアリマス、是等ノ規定ニ依リマシテ罰則關係テ居ルト云フヤウナ場合ニ、其ノ金融機關ガ指定金融機關ニナラナイ爲ニ、信託會社ナリニ預金又ハ金錢ヲ信託シテ居ルト云フヤウナコトハナイデレテシマフト云フヤウナコトハナイデアラウカト云フコトヲチヨツト心配スルノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ・

マシテ指定金融機關以外ノ金融機關於キマスル預金ナリ金錢信託ナリ貯金等へ出来ルダケ之ヲ少クシマシテ、殊ニ其ノ事業者ガ借入金ヲ相當多額ニ持ツテ居リマスヤウナ場合ニハ、其ノ借入金ハ返済ニ充テテ戴キタイト思ノアリマス、唯事業者ニ依リマシテハ各地ニ事業場、工場ヲ持ツテ居リマス、其ノ事業場工場ニ於キマスル當座預金ナリ、何ガシカノ預貯金ハ常ニ持ツテ居ナケレバナリマセヌ、處ガ事業場工場等ニ於キマシテ指定金融機關ノ店舗等ガゴザイマセスヤウナ場合ニハ如何様ニモ致シ方ナインデアリマスカラ、サウ云ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ指定金融機關以外ノ金融機關ニ於キマシテ、特定額ノ預金ナリ貯金ナリヲ致シテ置ク、サウ云フコトヲ認メザルヲ得ナイト思フノデアリマス、謂ハバ事業者ノ方デ其ノ事業ヲ圓滑適當ナ遂行ヲ爲スニ必要ナダケノ預金ヲ必ナ所ニ置ク程度ニ止メテ、後ノ分ニ付キマシテハ指定金融機關ニ集中致シタサイ、斯ウ云フ風ナ考ニ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

尋ト了承致シマシタ、現在地方ニ残ツテ居リマス貯蓄銀行ハ、御承知ノ通り殆ド總テガ親銀行ト申シマスルカ、系統銀行ト申シマスルカ、普通銀行ヲ背景ニシテ居ルモノガ大部分ト承知致シマシタコトガ自然デアルト者シマシタナラバ、私ハ其ノ系統ヲ追ヒマシテ、是ハ合併其ノモノニ依リマシテ非ハ、是ハ合併其ノモノニ依リマシテ非常ナ無理ガアリマシテハ、矢張り合併致シマシタ結果モ決シテ其ノ機能ノ發揚ニナリマセヌノデ、自然ノ霊園氣ノ下ニ合併ヲスル氣運ニ相成リマシタ場合ニハ、左様ナ氣運ニ依ソテ統合ヲ圖シテ行クノガ適當デハナイカト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス

助カルトカ何トカ云フヤウナ話ガアリ
ケレドモ、ソンナコトガスツカリ片ガ
付クノハ餘程先ノ話テハナイカ
ナラズ其ノ間ハ仕事ハ出來ヤシマセヌ
其ノ從業員ハ自分ノ銀行ガドウナル
カ、自分達ノ首ガ誠ラレルノカドウナ
分ラナイト云フヤウナ狀態ニアツテ、
職務ノ勵精トカ大イニ貯蓄ヲ勸誘シニ
取ラウナドト云フコトハ私ハ出來ヌ
思フ、斯ウ云フ戰爭ノ苛烈ノ際ニ、ア
云フコトヲナサツタノハ、是ハ大蔵
省ノ非常間違ヒデアル、私ハ是
會議等デ質問シテ伺ツテ見テモ宜イ
トダト思ツタノデアリマス、併シ是ハ
出來タ事デアリマスカラ、御答辯ヲ
メレバ、恐ラク形式的ニ、同業者ガ
ソデヤツタコトダト仰シヤルカドウカ
知リマセヌガ、サウ云フ白々シイコト
ヲ政府ハ能ク言ハレルンダガ、今御答
辯ヲ求メヨウトハ私ハ思ハヌノデ
ガ、此ノ事ハ他ノ事ニハ是カラ及サム
ヤウニ、此ノ事ハ私ハ間違ヒダト固ク
信ジテ居ル例ヘバ保険屋ナンカガニ
リマスガ、斯ウ云フモノニ付テモ、斯ウ
云フコトヨ戦局ガ是程迫ツテ來タク
ニ、今既設ノモノノ濫リ吻合シテ、
サウシテ其ノ機能ヲ殺グヤウナコトハ
絶対ニナサヌマヤウニ願ヒタイ、只今
ノ政府委員ノ御答辯ハ誠ニ結構デス、
其ノ通りニ原則ヲドウカ遵守シテ戴
タイ、此ノ事ハ一體國務大臣ニデモ中
上ゲベキコトダト思ヒマスガ、斯ウ云
フコトヲドウゾ御傳ヲ願ヒタイ
○政府委員(小笠原三九郎君)　只今ノ
御說ハ了承致シマシタ、國務大臣ニ
傳ヘマス

思ヒマスカラ左様御了承
本日ハ之ヲ以テ散會致シ
午後零時九分散會

著者左ノ如シ
委員長 男爵東郷
副委員長 子爵裏松
委員 友光君

○政府委員（櫛田光男君） 大體ニ於キ

昭和二十年一月四日發行

貴族院事務局